

部署：住居支援部住居支援課住居支援係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：西 1 丁目 1 番地	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃） ☐ 危険箇所の改善 ☐ 作業方法の改善
日時：令和 3 年 2 月 12 日（木）		
■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください	改善前 夜勤明け者が起床介助時に時間を取られ、寝具の整理整頓に時間を割けない時がある。 衣服を片付ける時に、片付ける＝筆筍の上に置くが定着している乾燥の時期に入り、皮膚など埃が床に落ちやすいため、汚れが溜まりやすい 改善後 ユニットの取り組みの中で、利用者様の離床時の整容と寝具の整頓について共有を行った。整容 寝具の整頓については、共有が出来ており、起床介助が余裕を持てずに朝食の時間になっても早番介護職員に状況を報告し、寝具の整理整頓を行えている。 パジャマなど片づけについては、共有には至らず、片づける場所の確保にも至っていない為、今後、再度取り組む予定。 利用者様によっては、乾燥などにより、掻いた皮膚などが、床に落ちていることがあった、医療定期対応で軟膏塗布の対応と、1 日一回モップで皮膚やほこりが溜まりやすい方の居室床の掃除を行った。	改善前の状況 明け番者が、起床介助の次は食事の準備、記録ゴミ捨て等を行なっていくうちに、後で行おうとしていた。寝具の整頓度を失念していた。 リネン交換時に掃除を行っていたが、皮膚が床に落ちていることがあり、リネン交換時の掃除だけでは衛生面を維持できなかった。
居室の整理整頓について ベッド上の寝具の整理整頓ができず、乱れていることがある。 タンスの上に衣服がおいてあることが散見される。 また、床の埃もあることから、整理整頓と清掃が行き届いていない ということについて と思うという意見を採用して取り組んだ		

※ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居支援部住居支援課住居支援係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：西 1 丁目 2 番地 日時：令和 3 年 2 月 5 日（金） ■環境 • □方法 □部署内の方策 • □職員の意識などに関して考えてみてください • 職員の働きやすい環境 • 感染症予防 ということについて • 環境を整備して、職員自身が働きやすい環境を構築する。 • 感染症を予防し、ユニットに持ち込まない と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 • 書類の整備は出来てきているが、ファイリングされた書類の置き場所が乱雑になってきている為、ユニットの景観が損なわれてしまい、整理整頓の意識が薄くなってきている。 • 月に 1 度のユニット会議などでユニットの課題などを周知・共有しているが、意識が薄れてしまう事がある。 • 感染症予防として、ユニット内の消毒や換気などが出来ている時と出来ていない時がある。 改善後 • ユニット会議等で整理整頓の声掛けを行ない、書類以外でも物の置き場所など（介材室）が整理していくことが出来た。 • 汚物室の汚れが目立って来ていた為、ブラシ掛けを行ない、清潔と不潔の空間分けを行なっていきやすい環境整備が出来た。 • 感染症予防として、個々人での感染症予防と施設職員としての感染症予防の徹底の呼び掛けを行ない、ユニット内の消毒や換気が継続して行なえている。	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 • 物の置きっぱなしにより整理整頓が行き届いていない • 課題の振り返りを行なう機会が出来ていない • 感染症予防に対しての意識が職員によって差がでている 改善時の工夫、改善後の状況 • 会議の場で、情報の共有を行ない、整理整頓や生活環境の整備の必要性を反復して伝えていった。 • 会議時に職員間で話し合いを行ない、消毒や換気が行なえる時間帯の設定を職員自身にしてもらい、実施に繋げていくことが出来た。
--	---	---

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居支援部住居支援課住居支援係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：北１丁目１番地	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	☐ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和２年１２月１１日（金）		☐ 危険箇所の改善
☐ 環境 ・ ☒ 方法 ☐ 部署内の方策 ・ ☐ 職員の意識などに関して考えてみてください	<u>改善前</u>	☒ 作業方法の改善
・感染症対策について	・継続して１０時・１５時の手すり等のアルペット消毒や換気を行なう。 ・職員や同居家族の体調不良時の連絡方法について、再度ユニット会議にて伝え、連絡体制の確認を行なう。	に関して
ということについて	<u>改善後</u>	<u>改善前の状況</u>
・再度、感染症対策を意識する と思うという意見を採用して取り組んだ	・１０時、１５時の手すり等のアルペット消毒や換気を行った。 ・ユニット会議にて、体調不良時の連絡体制を再度伝え、本人や同居家族の些細な体調不良でも、報告する事を確認した。	・感染症に対する認識を再度、確認する事で感染予防に繋げる。
※４Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の		<u>改善時の工夫、改善後の状況</u>
改善について抽出してください		・ユニット内のアルペット消毒や換気はパート職員任せになっている事が課題でしたので、ユニット会議にてパート職員が勤務の場合は、午前中に行なってもらい、午後は職員が行なう事をルール化する。現在、実施している。

部署： 住居支援部住居支援課住居支援係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：西２丁目１番地 日時：令和２年１２月１０日（木） ■環境 ・ ■方法 □部署内の方策 ・ ■職員の意識などに関して考えてみてください ・「5S」活動 ・感染症予防 ・屋外等での転倒防止	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ・ユニット内の環境整備として、必要物品の仕分け整理や倉庫内の整頓が十分にされておらず、必要時に必要な物品が見つからないことが多い。また物品を片付けた職員が他職員への伝達がされておらず、必要時に必要物品をご利用者へ提供することができない場合がある。 ・感染症予防対策としての居室内のアルコール消毒や清掃等ができていないことが多い。冬季使用の家電製品（加湿器）の管理ができる職員が少なく、その為管理方法の伝達がされていない状況である。 ・ご利用者の見守りについて、職員間で差はあるが、ご利用者の居室に訪室する際、フロア状況を確認せず訪室に結果として、ご利用者に不利益を与えてしまう状況が見られることがある。	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） ■危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ・トイレ介助後の使用済みパット等が置いたままになっており、片付けられていないことがある。 ・フロア内の食席について、ご利用者の事故防止や導線の確保を考慮した配置の再検討が必要である。
ということについて ・ユニット内の整理・整頓、清掃が不十分である。 ・冬季に流行する感染症予防の為の環境整備や清潔保持作業が不十分である。 ・屋外ではないが、屋内でのご利用者の転倒防止の為の見守りや職員間での声掛けが不十分である。 と思うという意見を採用して取り組んだ	改善後 ・スチールラックを購入し、居室ブースの一角を物品スペースにさせて頂き、倉庫内を整理する。必要度の高い物品（パット関係や非常用物品）は倉庫に固定搬入し、その他必要度の低い物品は物品スペースに搬入した。後日物品スペースには目隠しとしてカーテンをつける予定である。 ・居室内のベッド柵等の消毒について、居室の室温湿度のチェックの際に消毒を行うことを、ルールとして設定し実践している。またやや危機意識が低く、チェックができていない職員もいるが、都度声掛けし、実践するよう指導している。加湿器の管理については、主にタンク水の補充の定期的な実施を行うよう声掛けを行	改善時の工夫、改善後の状況 ・トイレ介助後の使用済みパットについては、徐々に片付けられるようになってきている。都度声掛けを行い、ご利用者に不快な思いを持たれないような状況を、継続して作っていきたい。 ・ご利用者の動線を考慮しながら、車椅子使用のご利用者が移動しやすいようテーブルの配置をずらす対応を行っている。ご利用者の状況を考慮し、随時変更の再考を継続していく。

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

っている。

- ・ご利用者の居室を訪室する際、同日勤務者間で必ず声掛けした後訪室するように、ユニット会議にて職員間で取り決め、実践している。

【整理前】



【整理後】



部署：住居支援部住居支援課住居支援係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：西２丁目２番地 日時：令和２年１２月７日（月） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください ・ユニット各ブースに置いてあるクローゼットの上に物が置いてあるため物を置かないよう整理する。 ユニット環境整備ラウンド結果の改善指導を受け改善する。 ということについて クローゼットの上にはパットが入っている箱や名前の記入されていない衣類など置いていたり場所によっては口腔ケアセットも置いている状況。 クローゼットの上の物は整理し物を置かないようにする。口腔ケアセットは収納場所を設置する と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前  クローゼットのうえに荷物が置いてある状況 改善後  棚を購入して収納スペースを確保し、介護材料室の荷物と合せて、収納場所の見直しを図り、クローゼットの上の荷物を概ね整理できた状況	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 パットや使用しない物（処分出来ずにいる物）の置き場所が無いことからクローゼットの上においてしまっていた。口腔ケアセットは以前フロアを歩いている利用者が持ち歩く事で見失いも多くクローゼットの上に収納していた。現在は持ち歩く事もないが以前のままクローゼットの上に置いている状況。 改善時の工夫、改善後の状況 ・5ブースの空いているスペースに棚を設置しリネンやクッション類などを収納し見やすく取り出せるようにしました。棚の上に置いてあるパットは介護材料室へ収納し、衣類は再度名前を確認後、処分しております。3ブースのクローゼットの上の口腔ケアセットは現在では持ち歩く利用者も居ないことから洗面所に設置を統一しています。ただ、1名B型肝炎があり感染対応とし設置場所は別にしており、誤って持ち出すことのないようにと考えておりましたが設置スペースも狭いため収納棚が見つけられずにおりました。今年度中には設置できるよう考え中です。
---	---	---

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居支援部住居支援課住居支援係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：東２丁目１番地 日時：令和２年１２月１３日（日） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください パソコン周りのファイルの整理整頓 ということについて	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ファイルが並んではいるが、使用頻度の優先順位もなく、現在使用していないものもあり、無造作に並んでいる状況である。ファイルも見出しがあるものとなない物がある。
パソコン周りのファイルが並んではいるが、使用頻度のあるもの、現在使用していないもの、必要のないものがバラバラにある。整理整頓し、日頃の業務において使用しやすく、見やすく、整理整頓したい。 と思うという意見を採用して取り組んだ ※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください	改善後 	改善時の工夫、改善後の状況 現在使用していないものに関しては、別の場所に移し使用頻度もあるものと必要性のあるもののみを並べ、日々の業務においてとても使用しやすくなったと思う。また、委員会、係のファイルがなかった為、ファイルを作成し並べている。各係や委員会の担当者には、今後ファイルリングするように伝達し、職員の誰でも確認ができるようにしていく予定としている。

部署：住居支援部住居支援課住居支援係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：東２丁目２番地	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	□4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和２年１２月１２日（土）		□危険箇所の改善
□環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・	改善前	☒ 作業方法の改善
☒ 職員の意識などに関して考えてみてください	・今までは（春期～秋期）各スタッフの通勤時間を考えての出社が行なっていた。	に関して
冬期における職員が、安全に出勤できる	改善後	改善前の状況
ということについて	・各自、出社当日の天気予報を詳細に確認する。 ・夜間はマイカーのワイパーを立てておく（凍結防止） ・翌日の出社の際の準備も早めに行う。 ・気温が低い時、雪の予報の際には特に普段より 30 分から 1 時間等早めに自宅を出発出来るようにする。 ⇒昨年 12 月の中旬、年末年始、1 月中、2 月の初旬に大雪が降った。 職員が各自前日に天気予報の確認が出来ていた。 マイカー通勤者は出勤日の前夜より、マイカーのワイパーを立てて、予測対応をした。 翌日の出社の準備も各自行っていた。 いつもの時間よりも渋滞を予測して早めに自宅を出発することが出来、時間に間に合うように出勤が出来ていた。 各スタッフより、心に余裕を持って仕事に取り組むことが出来た、と報告を受けている。	・今までは通常通りの事前準備でも出社時間内に出社が出来ていた。
	冬期は朝晩の道路の凍結や大雪が見られる為に交通渋滞も考えられる。時間に余裕を持ちながら安全に出勤が出来るように	
と思うという意見を採用して取り組んだ		・各自、出社当日の天気予報を詳細に確認する。 ・夜間はマイカーのワイパーを立てておく（凍結防止） ・翌日の出社の際の準備も早めに行う。 ・気温が低い時、雪の予報の際には特に普段より 30 分から 1 時間等早めに自宅を出発出来るようにする。
	※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください	

- 10 -

部署：住居支援部住居支援課住居支援係 令和2年度 冬期安全推進活動

部署：南2丁目2番地

日時：令和2年12月8日（火）

■環境

・

□方法

□部署内の方策

・

□職員の意識などに関して考えてみてください

感染対応の一環として確実に実施できていなければならない、環境消毒や換気などが確実に実施できていると証明できるものが必要

ということについて

・定期的な換気、毎日の環境消毒を行っているが、誰が、いつ実施したかを明確になる物が必要

と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

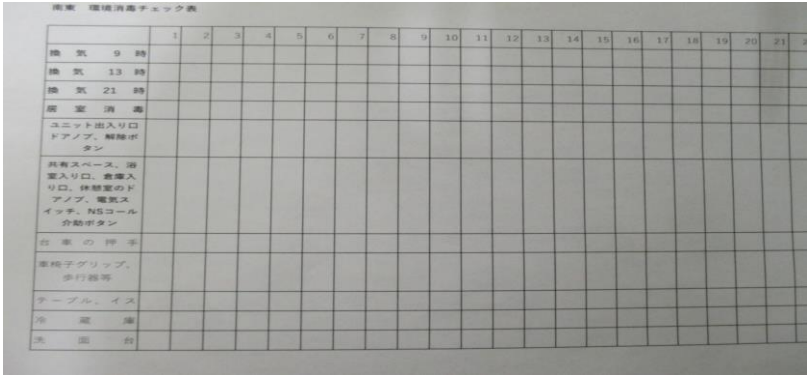
改善前



・実施事項についてチェック表として今あるものが、排泄チェック表にあるテーブル消毒と利用者の手指消毒のチェックのみ。

・取り組みとして、日頃から環境消毒は実施できているが、確実に実施できているという証明できる記録物を作る事とする。

改善後



・新たに環境消毒チェック表を作成し使用している。

■4S（整理・整頓・清潔・清掃）

□危険箇所の改善

□作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・いつ、誰が、どこを消毒するか明確にはなっているが、それを確実に実施したと証明できるものが無い。

改善時の工夫、改善後の状況

・毎日の環境消毒チェック表を作成することで確実に実施することができた。

・チェック漏れがあった際には職員間で確認ができ、どこの消毒ができていないのか、実施の有無など確認できるようになった。

部署：住居・相談支援部住居・相談支援課住居支援係 令和2年度 冬期安全推進活動

部署：北2ユニット	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	■4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和2年12月14日（月）		□危険箇所の改善
■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください	改善前	□作業方法の改善
・洗面台の整理整頓について ・感染予防について ということについて	・洗面台の手拭き用の紙がケースに入っている所と入っていない所がある。 ・歯磨きコップなどが洗面台に直に置いてある。 ・消毒用のアルコールがユニット入口、台所、お風呂場など要所以外に設置を再検討する。	に関して
・洗面台の手拭き用の紙をケースに入れた方が 良いのではないか（ケースに入っている所もあるが） ・消毒用アルコールをもう少し増やしたほうが 良いのではないか と思うという意見を採用して取り組んだ	改善後	改善前の状況
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の	・ハンドペーパー用のケースを購入し、ケースに入っていない所に設置するようにした。 ・壁にラックを設置し、コップ等を置くようにした。 ・プッシュタイプのボトルを購入し、洗面台や職員用のデスク、休憩室など、今まで置いていなかった所に設置した。	洗面台の環境、感染予防の環境について再検討の必要がある。
改善について抽出してください		改善時の工夫、改善後の状況
		・ケースに入れるとペーパーが取りやすくなった。しっかりと手を拭けるようになった。まだ設置したほうが良い所がある。 ・洗面台周りが整理されてきれいになった。 ・気付いた時に手の消毒を今まで以上にすることが出来るようになった。

部署：住居・相談支援部住居・相談支援課施設相談支援係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：施設相談支援 日時：令和２年１２月７日（月） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ ■職員の意識などに関して考えてみてください ① 路面凍結に注意する。 ② 防寒対策を行う。 ということについて ① 施設相談支援係の駐車場が施設より遠い場所にあり、坂道を登っての場所にある為凍結により転倒に注意が必要である。 ② 事務所が玄関近くにある為冬は寒い。現在換気を行う為、扉を開けた状態であり寒い事が考えられる。	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ① 施設相談支援係の駐車場が坂道を登っての場所にある。18時以降は暗くなり、足元も凍結している時もあると考える。凍結による転倒に注意が必要である事を意識して頂けるように全員に呼び掛けを行っていく。 ② 事務所が玄関近くにあり冷たい風が入り、例年冬は寒い環境となる。現在感染症予防の為換気を行っている為、扉を開けた状態であり、例年よりも更に寒い事が考えられる。 少しでも防寒ができるように扉に「のれん」を準備したい。 防寒の為ファンヒーター、ひざ掛けを準備し、寒さ対策を呼び掛けていく。 改善後 ① 今年は雪が多く、全員で転倒に気を付けて声を掛けあった。また、雪が降った日は残業も極力避けて帰宅するようにと皆で意識をして取り組む事ができた。 ② 冷たい風を防ぐ為等にほっとコーナー入り口にのれんを購入し取り付けた。 防寒対策は個人で工夫し取り組む事ができている。	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ① 積雪があると凍結する事があり、駐車場までの距離がある為危険である。 ② 冷たい風が入り、部屋自体温まりにくいため寒く、業務に集中できない。 改善時の工夫、改善後の状況 ① 雪が降った際は特に足元に注意するようにとお互いに呼び掛け出勤、帰宅する事ができた。 ② 冷たい風を防ぐ為に、予定通りのれんを購入し取り付けの事ができた。来客の方から直接室内が見えにくくなった為、集中して業務に取り組む事もできている。
--	---	---

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居・相談支援部住居・相談支援課栄養・口腔支援係 令和2年度 冬期安全推進活動

部署：栄養・口腔支援（管理栄養士）	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和2年12月4日（金）		□ 危険箇所の改善
■ 環境 ・ ■ 方法 □ 部署内の方策 ・ □ 職員の意識などに関して考えてみてください	改善前 ・ 換気する時間を9:00、12:00、16:00と決めているが、部屋の構造上、空気の通りが悪い状況になっている。 →サーキュレーターを購入し、設置することで空気の流れをつくることを検討中。 ・ デスクの間隔が狭いため、アクリルボードを設置し感染症対策に努めたい。	■ 作業方法の改善
ウイルス感染症予防		改善前の状況 窓がないため、空気の循環がうまく行われていない。デスク周りの環境整備が必要。
・ 接触感染予防、飛沫感染予防	改善後 ・ ドアを2箇所空けることで空気の通りが良くなった。  （アクリルボード設置済み）	改善時の工夫、改善後の状況 サーキュレーターは設置していないが、ドアを2箇所空けることで空気の流れを作ることができている。 アクリルボードを設置することでデスク周りの感染対策を行えている。
ということについて		

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：住居・相談支援部住居・相談支援課栄養・口腔支援係 令和2年度 冬期安全推進活動

部署：栄養・口腔支援（歯科衛生士） 日時：令和2年12月11日（金） □環境 • ■方法 □部署内の方策 • □職員の意識などに関して考えてみてください 歯科往診時の感染症対策 ということについて	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ・歯科往診での治療時、歯を削ったり、入れ歯を削ったりする事で飛沫感染の危険性がある。 往診の歯科医師や歯科衛生士はゴーグルを着用しているが、同席している私たちはゴーグルを着用していない為、目からの感染症予防が不十分である。	□4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 ■作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ・歯科往診に同席する際、マスク・グローブは着用しているが、ゴーグルはしておらず、目からの感染症予防は不十分である。
目からの感染症予防の実施 と思うという意見を採用して取り組んだ ※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください	改善後 ・歯科往診にて歯や入れ歯を削ったり、歯のクリーニングを行う際は、飛沫感染の危険性がある為、同席する私たち歯科衛生士もゴーグルを着用し、目からの感染症対策を行っている。	改善時の工夫、改善後の状況 ・歯科往診に同席する際、マスク・グローブの着用は継続し、目からの感染症対策にてゴーグルを着用するようになった。 ・感染症予防により一層力を入れながら歯科往診に同席している。

部署：住居・相談支援部住居・相談支援課居宅介護支援係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：居宅介護支援	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和３年２月１０日（水）		□危険箇所の改善
■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください	□作業方法の改善	に関して
「温度・湿度の管理と感染症予防対策」 ということについて 居宅のケアマネジャーは外部の人と関わる機会も多く、感染症罹患のリスクも高くなっている。感染症の予防対策として、他者の体調確認・うがい・手洗い・消毒の徹底、自身の体調管理の徹底、温湿度の管理・換気、環境整備を行い、感染症予防に努めたい。 と思うという意見を採用して取り組んだ	改善前 	改善前の状況 職員が対面で座っているため、感染のリスクが高い状況。衝立もしくは透明フィルムで仕切ること検討。 毎日の温湿度の確認・調整が必要。
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください	改善後 	改善時の工夫、改善後の状況 デスクの間を透明フィルムで仕切り、飛沫感染が行かないように対策した。 毎日、温度、湿度を計測。 職員の体調管理、手洗い・消毒を徹底し、訪問時も時間を短縮したり、電話でのモニタリングを行うなど、工夫して対応を行った。

部署：地域支援部ショートステイ担当課ショートステイ係 令和2年度 冬期安全推進活動

部署：ショートステイ東1-1 日時：令和2年12月8日（火） ☒環境 ☐方法 ☐部署内の方策 ☐職員の意識などに関して考えてみてください 手荒れ防止・冬の脱水予防 ということについて 感染症防止の為に一行為一手洗い、手指消毒に取り組んでいるが、冬場になり手荒れをする職員も増えてくると考える。手荒れにより細菌が定着しやすくなるなどのデメリットが多いことから改善を考える。また、マスクを着用していること、暖房をつけていることから冬の脱水予防について考える。 と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ・各自で手荒れ対策をしている状況である。 ・暖房をつけていることから居室も乾燥している。 ・マスクをつけている為のどの渴きを感じづらい。 職員も夏と比較すると汗をかかないので水分補給を忘れがちになっている。 改善後  濡れた手で使用できるハンドクリームを台所の水場に設置する。 食器洗い後に定期的に使用することで手荒れを予防する。  夏場に引き続き冷茶も用意をしながら、温かく飲める飲み物を数種類用意する。 職員、利用者共にお茶の時間を楽しみながら水分補給ができる。	☐4S（整理・整頓・清潔・清掃） ☐危険箇所の改善 ☒作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ・各自でハンドクリームを準備している。 ・夏場は脱水予防を呼び掛けていたが、現在は特別実施できていない状況である。 ・利用者でもマスクを常時装着している方が増えている。 改善時の工夫、改善後の状況 ・温かく飲める飲み物を多く用意することで好みの物を飲めるので水分補給が進みやすくなった。 ・手荒れ予防の為、食器洗いの後に付けることができるハンドクリームを用意して、台所の水道のところに設置した。 ・特に入浴介助後には水分補給を促すように声を掛け合った。
---	---	---

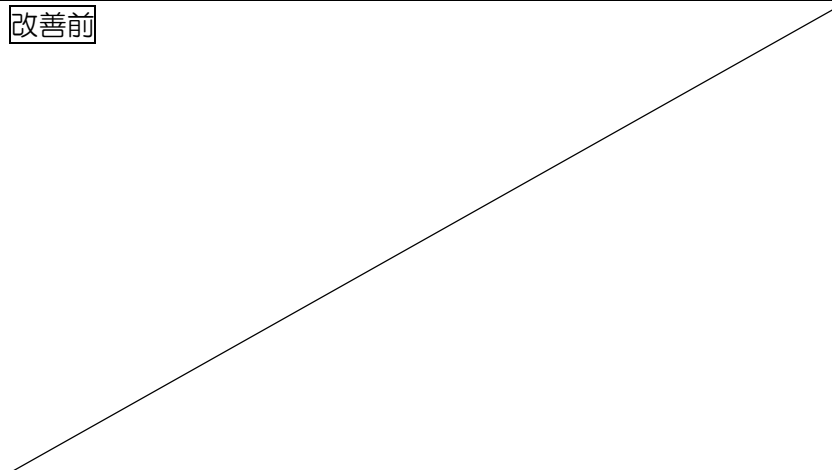
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：地域支援部ショートステイ担当課ショートステイ係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：ショートステイ東 1-2 日時：令和２年 12 月 7 日（月） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください ① 空気乾燥軽減と加湿器の清潔保持を行う。 ② 感染症予防に向けて清潔保持を行う。 ということについて ① 加湿器の水補充をこまめに行ない、加湿器を清潔に保ちたい。 ② 感染予防の為、手洗いやうがい、手指の消毒をこまめに行う。 と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ① ユニットで購入した加湿器の水が空のままになっていることがある。 ② 手洗いやうがいの後、備え付けの大きいボトルでの手指の消毒を行なっているが携帯用消毒液を使用しての使用頻度が少ない。 改善後 ① 申し送り後は水が少なくなってきたら水を交換したり夜勤中に加湿器の水が溜まっている部分の水垢をとり常にきれいな状態で使用できるようになった。 ② 携帯消毒液でトイレ扉取っ手や手すりを介助前後に消毒するよう申し送りを行ない職員が意識的にこまめに消毒実施をするようになり感染予防の意識を高めることができた。今後も継続して行ないユニット会議等で振り返りを行ない、感染予防に努める。	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ① ユニットで購入した加湿器の水が空になっていることやユニット用の加湿器の溜まっている水部分に水垢が残ったままになっている。 ② 手洗いやうがい、備え付けの大きいボトルでの手指の消毒を行なっているが携帯用消毒液を使用しての使用頻度が少ない。 改善時の工夫、改善後の状況 ① こまめに加湿器の水補充や夜勤時に加湿器の水垢をとるよう申し送りを行っていく。 ② 携帯用消毒液を使用し介助毎や居室やトイレ扉取っ手なども消毒するよう申し送りを行っていく。
---	--	--

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：地域支援部デイサービス担当課デイサービス係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：デイサービス	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等	☐ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和２年１２月４日（金）		■ 危険箇所の改善
■ 環境 ・ ☐ 方法 ☐ 部署内の方策 ・ ☐ 職員の意識などに関して考えてみてください	☐ 作業方法の改善	
夕暮れ時・降雪シーズンにおける 安全な送迎業務 ということについて	改善前 	に関して 改善前の状況 - 各車両に手持ちのLEDライトを用意しており、必要時に使えるようにしている。 - 降雪時には、路面凍結しやすい場所や事故等多発している箇所について送迎担当者間での情報共有を行っている。
- 冬期に入り日を追うごとに陽が短くなってきており、お帰りの送迎時には足元も暗く小さな障害物等に気付きにくくなっている。 - 路肩で降車介助を行う場面も多くあるが、陽が短くなってきた冬期はさらに、交通事故や重大事故に巻き込まれる可能性が高まる。 - 降雪シーズンに入り、雪や路面の凍結なども増えて来ることから安全な送迎方法について考える必要がある。 と思うという意見を採用して取り組んだ	改善後 	改善時の工夫、改善後の状況 - LEDネックストラップを購入し、帰宅送迎業務を行う際に使用した。手持ちのLEDライトと比較し、しっかりと足元を照らすことができ、両手がふさがらず自由に使えるようになった為、凍結路面等でも利用者の介助をより安全に行うことができた。 - 周辺状況によっては、比較的交通量もある路肩にて降車介助を行う必要がある場面もあるが、LEDネックストラップを使用していることで、後続車への視認性が向上し、事故防止に繋がっている。
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください		

部署：地域支援部デイサービス担当課デイサービス係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：国見ヶ丘３丁目デイサービス 日時：令和２年１２月１０日（木） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等		■４Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して
【冬期取り組み】 寒さ対策について １）窓際席が、窓からの冷気で寒い ２）玄関扉から隙間風が入る ということについて	改善前 １）  ２）  	改善前の状況 ・これまで、ご利用者様にひざ掛けを使用していただいていたが、換気の機会も増え、フロアが温まりにくくなることが予想される。隙間テープや窓からの冷気を遮断することで寒さが和らぐよう対策したい。	
上記１）２）を改善して、ご利用者様に暖かくお過ごしいただける環境を作りたい と思うという意見を採用して取り組んだ	改善後 １）  ２） 	改善時の工夫、改善後の状況 左記写真１）フロアに面している窓ガラスへ断熱シート（床から高さ 90 cm 高さ）を貼った。 ２）玄関扉の隙間を隙間テープで塞いだ。 ・玄関や窓際近くの冷気を遮断できるようになり、ご利用者に暖かくお過ごしいただける環境を作ることが出来た。	

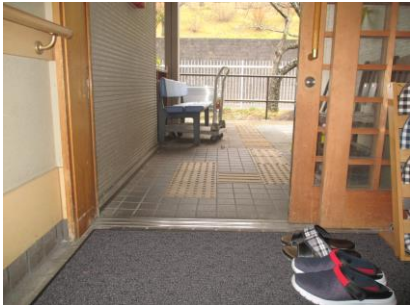
※４Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：地域支援部グループホーム担当課グループホーム係 令和2年度 冬期安全推進活動

部署：東乃家 日時：令和2年12月14日（月） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ ■職員の意識などに関して考えてみてください ①玄関や休憩室に臭いがこもりやすい。 ②浴室の排水溝から悪臭がすることがある。 ということについて ①玄関は人が1番初めに入る場所、つまり東乃家の第一印象なので、気持ちよく1日を過ごせるように、靴箱を清潔にして芳香剤を設置する。掃除の際に外扉と内扉を開けて換気をする。休憩室にはリラックス効果のある芳香剤を設置する。 ②週1回日にちを決めて浴室の排水溝を清掃し清潔を保つ。 と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前  ①閉鎖的な空間で臭いがこもりやすい ・靴箱やマットを定期的に清掃し芳香剤を設置する。 ・定期的な清掃が行え、清潔を保つことができているか検証する。 ②湿気がありぬめりや雑菌の温床になりやすい。 ・週1回排水溝の清掃を行いブリーチ除菌を行なう。 改善後  ①玄関に消臭剤を設置して悪臭を除去し、スティックタイプの芳香剤で清潔感のある空間になった。 ②週1回の清掃と除菌によりぬめりや悪臭を抑えることができた。	■4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ①靴の汚れや湿気による臭いがこもる事がある。 ②浴室は温度、湿度が高く、皮脂や垢などカビの栄養源が溜りやすいため、排水溝の中や蓋の裏が不衛生になり悪臭の原因となっている。 改善時の工夫、改善後の状況 ①休憩室には、香りが強くなり過ぎないように、微香タイプの消臭剤『ほのかな石鹸の香りの無香空間』を設置した。 ②週1回の清掃日を比較的時間に余裕がある日曜日の午後に設定する事で、職員の負担も抑えることができ、定期的に行なうことができています。
--	--	--

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：地域支援部グループホーム担当課グループホーム係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：中乃家 日時：令和２年１２月１１日（金） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください ・冬場、ゴミ捨てまで、リヤカーを使用する際に、使い捨て手袋では寒いことや雪や雨が降った際にサンダルでは、滑ったりするのではないかな。 ・そのまま、玄関に入ると靴の汚れを持ち込む可能性があるのではないかな。 ということについて ・軍手（厚手）を利用することにより寒さ対策になり、また雨や雪が降った際に、長靴を利用することにより安全に移動できる。 ・玄関の外に、玄関マットを置くことにより靴の汚れを持ち込まず玄関を清潔に保てる。 と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前  改善後    	■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 □作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ・冬場でも使い捨て手袋を使用して、ゴミ捨てに行っている。また、雨や雪が降った際は、個人の外靴で行ったりする。 ・玄関マット（玄関手前）も１ヶ月に１回業者に取り替えて頂いている。 改善時の工夫、改善後の状況 ・ゴミ捨てに行く際に軍手は毎日使用し、手がかじかむことはなくなった。また、雪や雨の際に、長靴を履くことにより、滑ることなく移動ができた。 ・玄関の外に、玄関マットを置くことにより靴の汚れを持ち込まず玄関を清潔に保つことができ、滑り止めにもなり転倒防止にもつながった。
--	---	---

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

部署：地域支援部グループホーム担当課グループホーム係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：西乃家

日時：令和２年１２月１０日（木）

■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・
□職員の意識などに関して考えてみてください

・夕方や夜、暗くなってからも、職員が安全に移動出来る環境を整える。

ということについて

・西乃家の玄関を出て、すぐの通路に灯りが無く、冬場は暗くなるのが早いこともあり、足元が見にくく歩きにくい。また、凍っていても見えないのでわからず、その状態で歩くことに不安がある。

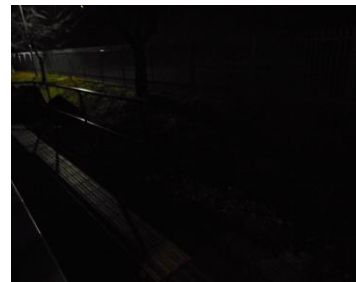
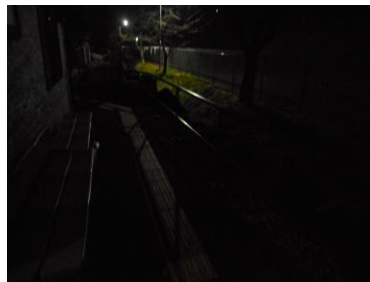
と思うという意見を採用して取り組んだ

※４Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

改善前

- ・灯りが道路側の街灯のみで、暗いと足元が見えにくい。
- ・センサー式のライトを購入し、歩行時に足元が明るく、見えやすいように環境を整える。



改善後



（日中）



（夜間センサーライト点灯時）

■４Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃）

□危険箇所の改善

□作業方法の改善

に関して

改善前の状況

・足元が見えにくく、人によっては夜の退勤時の移動に不安を感じていた。

改善時の工夫、改善後の状況

・足元が明るくなり、見えやすくなった、歩きやすくなったなどの意見があるが、ライトの明かりが強いといった意見もあり、設置個所について、調整を行っている。

部署：地域支援部グループホーム担当課北乃家係 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：国見ヶ丘３丁目グループホーム	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等		■ 4S（整理・整頓・清潔・清掃）
日時：令和 ２年 １２月 １４日（ 月 ）	改善前		□危険箇所の改善
■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください	 		■作業方法の改善
・３丁目 GH、DS から公道に出るまでの私道の 灯り	改善後		改善前の状況
・掃除用ロッカーの転倒防止	 		・日が暮れると暗く、坂道になっている 為、足元が見えづらく危なかった。 ・地震等でロッカーが転倒する危険性 があった。
ということについて			改善時の工夫、改善後の状況
・外灯が少ない為、日が暮れると私道が暗く坂 道になっていて、雪が降った際に転倒する危険 性がある。 ・地震などで掃除用のロッカーが倒れる危険性 がある。			・私道にセンサーライトを設置し、足 元を見えやすくした。 視認性は上がってはいるが、今後、使 用を続けていく中で、使い勝手を聞き、 微調整を行っていく予定。 ・ロッカー、天井の間に伸縮棒を使用 しぐらつきを抑えた。
と思うという意見を採用して取り組んだ			
※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の 改善について抽出してください			

部署：地域支援部地域連携推進グループ 令和２年度 冬期安全推進活動

部署：地域連携推進グループ 日時：令和２年１２月１１日（金） ■環境 ・ □方法 □部署内の方策 ・ □職員の意識などに関して考えてみてください ① 感染症予防と職員の健康管理 ということについて ① 気温が下がってきて暖房を使用する時期になり、感染症予防のためにも温度、湿度管理が大切になってくる。 と思うという意見を採用して取り組んだ	課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等 改善前 ① 地域連携推進グループのスペースはオープンスペースになっているので温度、湿度共に低くなっている。加湿器が１台のみ。（湿度４０％以下）・温度、湿度が目標設定になるように毎日の計測を継続する。 	■４Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃） □危険箇所の改善 ■作業方法の改善 に関して 改善前の状況 ① オープンスペースの為、室内は乾燥しやすい状態である。加湿器が１台あるが面積に対して足りない状態である。 湿度は４０％以下の日が多い
※４Ｓ（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください ①毎日定時に温度、湿度を計測する。 ②空調で温度は管理されているが、オープンスペースの為、他の部署からの開閉によって室温が下がることもあるので、個々の暖房機で調整する。 ③計測により湿度が低い場合は換気などを行う。	改善後途中報告 ・毎日定時に２回温湿度を計測した。室内温度は２５度台であるが、湿度は低くなっている。そのため加湿器を１台増やし、換気も定期的実施したが４０パーセント以下の状態で、現在地域連携推進グループ内にバケツに水を入れ様子観察している。 改善後報告 毎日定時の計測を継続している。温湿度計は見やすく精度の高いものを設置した。バケツに水を入れ様子を見たが、あまり変化がなかったため中止した。換気を行い感染症対策を兼ねて実行した。	改善時の工夫、改善後の状況 温度・湿度測定、換気は感染症対策を踏まえて定期的に行っている。 職員の体調管理のため、寒いと感じる時は個々に暖房機を使用している。 温度・湿度は施設の空調とも関係しているので計測を継続していく。湿度が低すぎる時は個別で簡易湿度器具を用意してみる。



地域連携推進室 環境実測状況

項目 時間	温度		湿度		換気		備考
	9時	14時	9時	14時	11時	15時	
1日	20.5	20.5	27	27			
2日	20.5	20.5	27	27			
3日	20.5	20.5	27	27			
4日	20.5	20.5	27	27			
5日	20.5	20.5	27	27			
6日	20.5	20.5	27	27			
7日	20.5	20.5	27	27			
8日	20.5	20.5	27	27			
9日	20.5	20.5	27	27			
10日	20.5	20.5	27	27			
11日	20.5	20.5	27	27			
12日	20.5	20.5	27	27			
13日	20.5	20.5	27	27			
14日	20.5	20.5	27	27			
15日	20.5	20.5	27	27			
16日	20.5	20.5	27	27			
17日	20.5	20.5	27	27			
18日	20.5	20.5	27	27			
19日	20.5	20.5	27	27			
20日	20.5	20.5	27	27			
21日	20.5	20.5	27	27			
22日	20.5	20.5	27	27			
23日	20.5	20.5	27	27			
24日	20.5	20.5	27	27			
25日	20.5	20.5	27	27			
26日	20.5	20.5	27	27			
27日	20.5	20.5	27	27			
28日	20.5	20.5	27	27			
29日	20.5	20.5	27	27			
30日	20.5	20.5	27	27			
31日	20.5	20.5	27	27			



部署：総務部総務課総務係

令和2年度 冬期安全推進活動

課題となった環境・方法、方策、意識等とその改善が分かる写真等

部署：総務部総務課

日時：令和2年12月11日（金）

☒環境 ・ ☐方法 ☐部署内の方策 ・
☐職員の意識などに関して考えてみてください

・感染予防対策
湿度が低い傾向であるため、室内温度と湿度の管理

ということについて

室温に関しては、衣服や卓上扇風機、足元ヒーターを使用することにより、各々の適温を調整しやすいが、湿度に関しては精密機器や書類への配慮がより慎重にならざるを得ず、引き続き対策への工夫や検討が必要な状況である。

感染症予防の観点として、常時マスク着用が常態化しているため、室内の湿度対策より効果としては期待しても良いのでは。
と思うという意見を採用して取り組んだ

※4S（整理・整頓・清潔・清掃）・危険箇所の改善・作業方法の改善について抽出してください

改善前



改善後

室温に関しては、衣服での調整や卓上ファンや小型ヒーターにてそれぞれで調整を行う。

湿度に関しては、室内全体での調整が難しい面もあることから、都度対策案に関して検討を行う。

☒4S（整理・整頓・清潔・清掃）

☐危険箇所の改善

☐作業方法の改善

に関して

改善前の状況

湿度に関しては温度に比べ、体感として感じにくいことから、こまめに温湿度計を確認し、併せて加湿器の設置を検討する。加湿器設置の場合、効率的かつ精密機器に影響のない場所を選定する必要がある。

改善時の工夫、改善後の状況

室温の感じ方は、場所によってもそれぞれで相違があるため、個々人にて調整を行う。

感染対策観点からの湿度調整に関しては、マスクの使用により一定の効果は期待できる。それ以外での影響は、現状では軽微もしくはないに等しい状況であるため、様子を見ながら都度対策を講じる。